

プロジェクト進捗管理シート

方針2 豊かさが実感できる暮らしの実現

5 雇用・社会参加促進プロジェクト

～「満ち足りた」暮らしのための雇用と社会参加の促進～

総括マネージャー

雇用・就業支援担当部長

目 標

雇用環境や社会参加の仕組みを整備することにより、県民誰もが持てる能力を最大限に活かすことのできる社会をめざします。

総 合 分 析

「満ち足りた」暮らしのための雇用と社会参加の促進をめざし、5つのアクションによりプロジェクトを推進しました。

達成目標5項目のうち、2項目は「順調」、2項目は「努力を要する」、1項目は「実績値なし」となっています。

「県内大学生の就職内定率」は前年度を1.4ポイント、目安値を0.5ポイント上回っており、過去10年間で最も高い値となっています。

なお、「県内高校生の就職内定率」は「努力を要する」となりましたが、計画策定時の基準値を上回っており、高い水準を維持していることから、着実に促進している状況といえます。

「障がい者就職率」は、過去最高を記録した前年度よりも2.4ポイント高くなり、障がい者の雇用は順調に進んでいるものと考えられます。

「自分の能力が仕事や公共的活動で発揮できていると思う人の割合」は「努力を要する」となっており、子育て期の女性や高齢層で低くなっていることなどから前年度を3.2ポイント下回っています。

これらのことから、プロジェクトの目標である「誰もが持てる能力を最大限に活かすことのできる社会」への取組は順調に進んでいる分野がある一方、さらに重点的に取り組むべき分野もあると考えます。

～プロジェクト推進に向けての課題と今後の方向性～

人口減少・高齢化社会が進行する中で、労働力人口を確保するとともに、多様な人材が活躍できる社会を実現していく必要があります。特に、子育て期の女性の就業支援や高齢者の社会活動・就業を促進する取組をさらに進めていくことが重要です。

このため、子育てで離職した女性に対する託児付きインターンシップ等の実施による再就職支援や短時間正社員制度など多様な働き方に積極的に取り組む企業の拡大を推進するとともに、高齢者の社会活動や就業を進めるための地域の関係機関の連携・機能強化や効果的なマッチングなどの仕組みづくりを進めていきます。

また、県内産業を担う優秀な人材の確保と地域活性化を図るため、引き続き、県出身学生の県内へのUターン就職の促進に取り組めます。

達成目標の進捗状況

※進捗区分 ○順調:目安値以上 ○概ね順調:80%以上100%未満の進捗
 ○努力を要する:80%未満の進捗 ○実績値なし:今年度実績値が把握できない
 ・進捗割合=(実績値-基準値)/(目安値-基準値)

指標名	年度	単位	基準値 (H22)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)	
就業率 (全国順位) ※県内の15歳以上人口に対する県内の15歳以上就業者の割合	目安値	位		—	—	1	—	1	
	実績値		1 (58.9%)	—	—				
	進捗区分			実績値なし	実績値なし				
	【関連データ】 (単位:%)								
	指標名				H25	H26	出典: 労働力調査モデル推計値 (総務省統計局)		
	年平均就業率				58.5	59.5			
	進捗状況の分析		国勢調査が5年ごとであるため、H26年の実績値はありませんが、総務省統計局の労働力調査モデル推計値では、H26年の平均就業率は59.5%となっており、前年の平均就業率の58.5%より伸びています。						
【目標設定理由】 現状維持を目標として設定	今後の取組		<ul style="list-style-type: none"> 若者や高齢者等の就業、社会参加の促進 子育て期の女性の就業支援や多様な働き方に取り組む企業の拡大 創業に意欲のある女性に対する相談体制の強化 						
【関連アクション】 アクション1, 2, 3, 4									
指標名	年度	単位	基準値 (H24)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)	
自分の能力が仕事や公共的活動で発揮できていると思う人の割合	目安値	%		69.8	71.1	72.4	73.7	75.0	
	実績値		68.6	70.2	67.0				
	進捗区分			順調	努力を要する				
	進捗状況の分析		「発揮できている」、「まあ発揮できている」と思う人の割合はH25年度調査より3.2ポイント低下しました。これは子育て期であっても働きたいと思う女性が多くなってきたことが要因と考えられます。また、働く意欲や地域活動への関心がありながら実現できていない高齢者や仕事の充実感が薄い若者が多くなったことも要因と考えられます。						
【目標設定理由】 現状を上回る数値を目標に設定	今後の取組		<ul style="list-style-type: none"> 子育て中の女性に対する託児付きセミナーやインターンシップの実施 若者、高齢者それぞれのニーズに合ったきめ細かな就業支援 仕事と生活の両立ができる職場環境づくりや、シニア層が一層活躍するための地域における仕組みづくりの推進 						
【関連アクション】 アクション1, 2, 3, 4									
指標名	年度	単位	基準値 (H23)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)	
県内高校生の就職内定率	目安値	%		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
	実績値		99.6	99.8	99.8				
	進捗区分			努力を要する	努力を要する				
	進捗状況の分析		県内高校生の就職内定率は、前年と同水準で目安値には至りませんでした。が、基準値を上回っており、高い水準となっています。						
【目標設定理由】 現状を上回る数値を目標に設定	今後の取組		<ul style="list-style-type: none"> 経済界と連携した、希望者全員の就職に向けた取組の推進 ジョブカフェ信州の出前講座の積極的活用による在学中のキャリア教育 キャリアコンサルティングや就労体験による就業支援 						
【関連アクション】 アクション2									

指標名	年度	単位	基準値 (H23)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)	
県内大学生の就職内定率	目安値	%		95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	
	実績値		93.9	94.1	95.5				
	進捗区分			努力を要する	順調				
	進捗状況の分析	県内大学等卒業者の就職内定率は、H27年3月末現在で95.5%と前年同期を1.4ポイント、目安値を0.5ポイント上回り、順調に推移しています。この内定状況は、過去10年間で最も高い値となっています。							
【目標設定理由】 現状を上回る数値を目標に設定	今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 県内での合同企業説明会や大学の就職担当者と企業の人事担当者との情報交換会等の開催 学生や保護者に対する就職情報の提供 県内の企業、大学、行政等で構成する協議体を核とした、県内大学生に対する企業インターンシップの充実 							
【関連アクション】 アクション2									
指標名	年度	単位	基準値 (H23)	H25	H26	H27	H28	目標 (H29)	
障がい者就職率	目安値	%		49.9	51.2	52.5	53.8	55.0	
	実績値		48.6	52.6	55.0				
	進捗区分			順調	順調				
	【関連データ】 (単位:件)								
	指標名				H25	H26	出典: 障がい者の職業紹介状況 (厚生労働省)		
	障がい者就職件数				1,792	1,957			
	障がい者の新規求職件数				3,410	3,561			
進捗状況の分析	ハローワーク等の関係機関との連携による企業に対する雇用の働きかけや、昨年度から重点的に実施している職場実習の取組により、就職率は目標値である55.0%に達しました。 また、障がい者の就職件数も前年度に比べ165件(+9%)の増加となり、障がい者の就業環境が上向いています。								
【目標設定理由】 全国上位となる水準を目標として設定	今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 企業における職場実習の取組の拡大 障害者就業・生活支援センターにおける個別支援等による障がい者の就職率の向上に向けた取組の推進 農業と福祉の連携を進めるための農業分野における働く場の拡大 							
【関連アクション】 アクション4									

**アクション
1**

(女性の雇用と社会参加の促進)

企業・地域社会の意識改革や子育て支援策の推進、女性の就業継続や再就職に対する支援などに取り組み、女性の雇用と社会参加を促進します。

【アクションの進捗状況】

ハローワーク等の関係機関との連携を通じ、子育て中の女性に対するきめ細かな就業相談や就職セミナー等の実施、就職希望者の登録から職業紹介までを一体的に支援することにより就業促進が図られました。

また、積極的な企業訪問によりワークライフバランスの啓発や子育て支援について働きかけを行った結果、子育て応援宣言企業が大幅に増加したほか、積極的な創業支援により、創業を希望する女性の相談件数も着実に増加しています。

主な成果

●子育て期の女性の就業を促進

- ・長野地域に女性就業アドバイザーを配置
- ・ハローワークマザーズコーナーとの連携による就業相談から職業紹介までの一体的支援
- ・託児付きセミナーの開催 参加者462名
- ・子育て中の女性に対するキャリアコンサルティング等

子育て中の女性の就職者数

H26年度：目標 200人 ⇒ 実績 247人



託児付きセミナー

●ワークライフバランスや子育て支援に取り組む企業を応援

- ・子育て等応援制度推進員の企業訪問によるワークライフバランスの啓発
- ・子育て応援宣言企業への登録働きかけを実施

「社員の子育て応援宣言」登録企業数（累計） H26年度：目標 360社 ⇒ 実績 675社

●女性の創業をサポート

- ・ながの創業サポートオフィスによる相談・助言をワンストップで実施
- ・女性を対象にセミナーを開催し、女性の感性を活かした創業のポイントを学ぶ機会を提供

ながの創業サポートオフィスの創業相談件数

H26年度：目標 180件 ⇒ 実績 221件（うち女性79人）

女性起業家と話そう月1サロンの開催件数

H26年度：目標 10回 ⇒ 実績 10回

女性向け起業セミナーの開催件数

H26年度：目標 11回 ⇒ 実績 31回

信州女性起業・創業サミット

H26年度：目標 1回 ⇒ 実績 1回

女性のためのぷち創業セミナー

H26年度：目標 1回 ⇒ 実績 1回



女性のためのぷち創業セミナー

**アクション
2**

(若い世代の雇用と自立の促進)

ニートやひきこもりなど支援が必要な若者も含め、若い世代の雇用と自立を促進します。

【アクションの進捗状況】

社会的・職業的自立が必要な若者に対し、パーソナルサポートセンターなどの寄り添い型支援やジョブカフェ信州の多様な就職支援サービスの提供などに加え、市町村やNPOなどの関係機関が連携した支援体制により、若者の就業意識の醸成や雇用の促進、自立に向けた社会参加の促進が図られました。

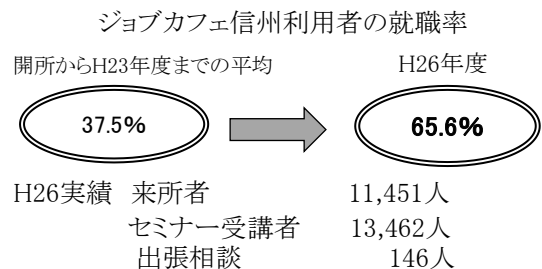
また、県内外の大学等に進学した学生に対する合同企業説明会や就活力強化研修の開催、メールマガジン等多様な手段を活用した就職情報の提供などにより、県内への就職を促進しています。

主な成果

●若者の就職をワンストップで実現

ジョブカフェ信州における手厚い支援

- ・キャリア・コンサルティング
- ・就職に役立つ各種セミナー
- ・県内の協力事業所における就労体験
- ・市町村と連携したミニジョブカフェ等



●県出身学生の県内へのUターン就職を応援

- ・合同企業説明会、就活力強化研修、大学と企業の情報交換会
- ・就職関係情報のメールマガジン配信
- ・大学を通じた情報提供を強化するため、県外の大学と県出身学生のUターン就職に関する協定を締結

(合同企業説明会) H26年度：2回開催 79社・241人参加
(情報交換会) H26年度：2回開催 97社・103校参加

(協定締結校) H25年度末 12校 → H26年度末 24校 (倍増)



合同企業説明会

●就職に困難を抱える人をサポート

自立を目指しながらも様々な問題を抱える者に対して、県内6か所の生活就労支援センター(愛称「まいさぽ」)が制度横断的かつ継続的に就労を支援

就労率 H26年度：目標 34% ⇒ 実績 36.5%

●困難を有する子ども・若者の社会的自立を支援

○子ども・若者支援地域協議会の開催

子ども・若者育成支援推進法に基づき、困難を有する子ども・若者の支援を実施するため、東信地区にモデル的に子ども・若者支援地域協議会を設置

支援対象者数 H26年度：目標 15人 ⇒ 実績 46人



パン作り講習会(居場所事業)

○民間団体の困難を有する子ども・若者の社会的自立の取組を支援

ニート・ひきこもりなどの社会生活を営む上での困難を有する子ども・若者に対し、県内で取組が不足している支援メニュー（アウトリーチ、居場所、宿泊研修）を実施する民間団体に助成

補助対象事業数 H26年度：目標 5件 ⇒ 実績 5件

アクション 3

(人生二毛作社会の仕組みづくり)

シニア・シルバー世代が、その培ってきた知識と経験を活かして、積極的に就業や社会参加を行うことができる「人生二毛作」社会実現のための仕組みをつくりまします。

【アクションの進捗状況】

長野県長寿社会開発センターの本部(長野)及び支部(上小・諏訪)に各1名の「シニア活動推進コーディネーター」を配置し、地域の社会福祉協議会、シルバー人材センター等の関係機関によるネットワーク会議の開催などを通じ、連携体制を構築するとともに、就業、社会活動等に係るマッチングを行うなど、高齢者が知識や技術、経験を活かして活躍できる人生二毛作社会の仕組みづくりを進めました。

主な成果

●「人生二毛作社会」に向けた仕組みづくりを推進

○シニア活動推進コーディネーターによる社会参加促進の支援

地域の高齢者の社会参加活動に関する情報の収集・共有・発信などを行い、「活動を希望するシニア層とシニア層の活動が求められる場」をマッチング

・コーディネート相談対応件数 H26年度：目標 1,200件 ⇒ 実績 1,663件

○連携体制の仕組みづくり

地域ごとの関係機関によるネットワーク会議の開催等による連携・機能強化、県レベルでシニア層の社会参加に関する課題や対応策を検討する人生二毛作推進県民会議を開催

・ネットワーク会議 H26年度：目標 12回 ⇒ 実績 14回
・県民会議 2回

○タウンミーティングの開催

高齢者の社会参加促進に関する意識啓発を図るため、県民参加のタウンミーティングを開催

・県内10地域で開催 参加者 約1,100人



長野地域でのタウンミーティングの様子

**アクション
4**

(障がい者の社会参加と雇用促進)

障がいを理解し、障がい者を応援する社会づくりや障がい者が能力を発揮できる環境づくりを進め、障がい者の社会参加と雇用を促進します。

【アクションの進捗状況】

障がい者への理解を深める運動の推進、障がい者の就労促進のための民間企業等における職場実習の場の拡大のほか、農業と福祉の連携による農業分野における障がい者の雇用の場の創出に取り組みました。

また、地方事務所の就業支援デスクでは、新たにハローワークの求人情報を活用しながら職業紹介を行うこととしたため、障がい者の就職率は着実に上昇しています。

主な成果

●農業分野における就労機会の創出

農業分野における障がい者の就労を促進するため、関係機関が連携して、地域の農業法人等と障がい者就労施設等を結び付けるサポーターに情報を共有し、就労機会を創出、拡大

- ・ 農業法人等への農業活動の支援
(マッチングによるサポーターの派遣数)
H26年度：目標10件 ⇒ 実績26件



農業活動の様子

●信州あいサポート運動を推進

～障がい者が暮らしやすい地域社会(共生社会)の構築～

- ・ あいサポーター数 23,289人 (H27.3月末)
- ・ あいサポート企業・団体 49企業・団体

※あいサポート運動

誰もが、多様な障がいの特性、障が者への必要な配慮、障がいの有無にかかわらず共に生きる社会のあり方などを理解して、障がい者に対してちょっとした手助けや配慮を実践する運動



あいサポート運動のマーク

●OJTで障がい者の就労を促進

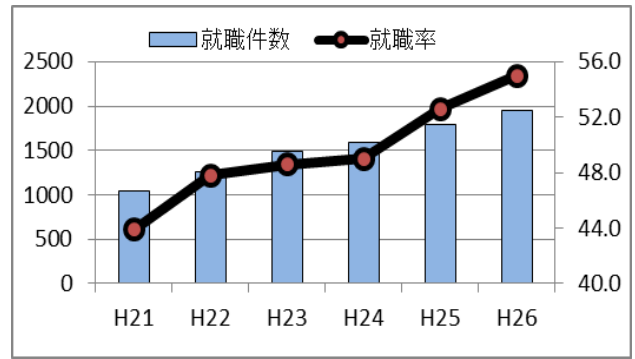
障がい者の企業等への就労を促進するため、企業等における職場実習(OJT)の場を拡大する取組を実施

- ・ 雇用経験等がない企業等へのOJT推進員の派遣
H25年度 30件 → H26年度 52件
- ・ 障がい者短期トレーニング促進事業へ参加した障がい者数
H25年度 295人 → H26年度 383人

●「女性・障がい者等就業支援デスク」を地方事務所に設置

- ・ハローワークの求人情報などを活用した就職希望者の相談対応や求人斡旋
- ・障がい者雇用への理解促進や求人開拓
- ・就職後の職場定着を促進するための事業所内支援者の養成研修会
- ・雇用促進のためのセミナー、企業説明会

ハローワークにおける障がい者の職業紹介状況



アクション 5

(多様で安心できる働き方の検討)

誰もが自らの価値観を尊重し仕事と生活の両立が可能な社会をめざすため、多様で安心できる働き方について検討します。

【アクションの進捗状況】

積極的な企業訪問により、子育て・介護等のためにフルタイムの就業が困難な人でも、能力を活かして働き続けられるよう、短時間正社員制度や在宅勤務制度等の多様な勤務制度の普及を図ることで、働きやすい職場環境づくりが進みました。

また、セミナーの開催により多様な人材活用を企業に働きかけるとともに、人事労務担当者への研修で従業員の職場定着を促進しました。

主な成果

●働きやすい勤務制度の普及を促進

- ・仕事と生活の両立ができる職場環境整備を図るため、企業訪問等により多様な勤務制度を普及するとともに、多様な勤務制度導入企業の事例集を作成

- ・企業訪問

H26年度:目標 3,000社 ⇒ 実績 3,228社

- ・多様な勤務制度導入企業

H26年度:目標 30社 ⇒ 実績 137社



多様な勤務制度導入企業の事例集

●多様な人材の活用を企業等へ働きかけ

- ・企業の持続的な成長を図るために多様な人材の活用の重要性を発信するセミナーを開催
- ・企業の人事労務担当者に対する連続研修で、従業員の職場定着を促進
- ・一般就労や福祉的就労ではない「中間的就労」への理解を広める研修会を県内4地区で開催

セミナーのチラシ